

# 豚肉情勢

1月7日 更新 JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内容	備考																																																																
供給	1.国産	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">国内生産量の推移</th> <th colspan="3">農水省出荷予測 (千頭:%)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">国内出荷頭数</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">出荷予測</th> </tr> <tr> <th>千頭</th> <th>前年比</th> <th>頭数</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>16,338</td> <td>98.3</td> <td>R3年 12月</td> <td>1,494</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>16,429</td> <td>100.6</td> <td>R4年 1月</td> <td>1,399</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>16,320</td> <td>99.3</td> <td>R4年 2月</td> <td>1,310</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>16,686</td> <td>102.2</td> <td>R4年 3月</td> <td>1,446</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>1,326</td> <td>104.4</td> <td>R4年 4月</td> <td>1,387</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>1,389</td> <td>103.1</td> <td>R4年 5月</td> <td>1,355</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>1,417</td> <td>95.7</td> <td colspan="3">※令和3年12月23日更新</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>1,504</td> <td>103.5</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table>	国内生産量の推移			農水省出荷予測 (千頭:%)			暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測		千頭	前年比	頭数	前年比	H29年	16,338	98.3	R3年 12月	1,494	98	H30年	16,429	100.6	R4年 1月	1,399	99	R1年	16,320	99.3	R4年 2月	1,310	98	R2年	16,686	102.2	R4年 3月	1,446	95	R3年 8月	1,326	104.4	R4年 4月	1,387	96	R3年 9月	1,389	103.1	R4年 5月	1,355	104	R3年 10月	1,417	95.7	※令和3年12月23日更新			R3年 11月	1,504	103.5			
	国内生産量の推移			農水省出荷予測 (千頭:%)																																																														
暦年	国内出荷頭数		暦年	出荷予測																																																														
	千頭	前年比		頭数	前年比																																																													
H29年	16,338	98.3	R3年 12月	1,494	98																																																													
H30年	16,429	100.6	R4年 1月	1,399	99																																																													
R1年	16,320	99.3	R4年 2月	1,310	98																																																													
R2年	16,686	102.2	R4年 3月	1,446	95																																																													
R3年 8月	1,326	104.4	R4年 4月	1,387	96																																																													
R3年 9月	1,389	103.1	R4年 5月	1,355	104																																																													
R3年 10月	1,417	95.7	※令和3年12月23日更新																																																															
R3年 11月	1,504	103.5																																																																
2.輸入	<p>○ 令和3年11月の全国の肉豚出荷頭数は1,504千頭(前年比103.5%)となった。11月の地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道105.5%、東北104.5%、関東102.1%、北陸甲信越105.0%、東海115.1%、近畿111.6%、中四国105.0%、九州・沖縄101.1%となった。</p> <p>○ 令和3年12月の全国と畜頭数は速報値で1,392千頭(12/28まで集計)で、前年同月比91.6%となっている。稼働日数は昨年と同一ながら、1日当たりの平均と畜頭数は69,600頭(前年実績:72,371頭/日、前年比△2,771頭/日)と減少することとなった。</p> <p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年12月23日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和4年1月1,399千頭(前年同月比99%)、2月1,310千頭(同98%)、3月1,446千頭(同95%)、4月1,387千頭(同96%)、5月1,355千頭(同104%)で今後5か月間合計頭数で前年比98.0%と前年をわずかに下回ると予測している。</p> <p>○ 令和3年11月の輸入通関実績は豚肉全体で78.5千ト(前年同月比111.3%、前月比100.8%)となった。内訳は、チルドが34.2千ト(前年同月比88.6%、前月比101.8%)、フローズンは44.4千ト(同138.7%、同100.0%)となった。チルドは現地価格の高騰の影響で前年を下回ったが、フローズンは中国の買い付けが弱まった欧州産の増加により前年を上回った。主な国別では、チルドは米国16.5千ト(前年同月比80.9%)、カナダ16.1千ト(同94.2%)、メキシコ1.6千ト(同141.7%)となり、フローズンはスペイン12.9千ト(同256.3%)、デンマーク7.9千ト(同108.9%)、メキシコ8.4千ト(同127.4%)、カナダ2.4千ト(同102.2%)、米国2.1千ト(同66.6%)と、チルド・フローズンともに米国の減少、チルドではメキシコ、フローズンではスペインの増加が目立つ。</p> <p>○ (独)農畜産業振興機構が12月23日に公表した豚肉の需給予測では、12月の輸入量は、チルドが北米の現地価格の高騰やカナダの洪水の影響等により前年をかなり大きく下回るが、フローズンは中国の買い付けが弱まったために値下がりした欧州産の増加のため、前年を大幅に上回り、合計では前年をわずかに上回ると見込んでいる。1月の輸入量は、チルドがカナダの洪水で繰り越された前月分の入荷のため前年をやや上回り、フローズンは欧州産の入荷量増加のため前年を大幅に上回り、合計ではかなりの程度上回るものと予測する。このため3か月平均では、チルドは前年をかなりの程度下回り、フローズンは前年を大幅に上回ること、輸入量全体で前年をやや上回るとの報告されている。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">輸入量の推移</th> <th colspan="2">財務省:通関実績</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">輸入数量</th> <th colspan="2">チルド数量</th> </tr> <tr> <th>ト</th> <th>前年比</th> <th>ト</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>932,048</td> <td>108.2</td> <td>398,847</td> <td>112.2</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>924,971</td> <td>99.2</td> <td>406,752</td> <td>102.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>958,963</td> <td>103.7</td> <td>407,360</td> <td>100.1</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>891,807</td> <td>93.0</td> <td>416,334</td> <td>102.2</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>78,228</td> <td>114.2</td> <td>34,063</td> <td>108.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>74,295</td> <td>113.5</td> <td>35,466</td> <td>108.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>77,929</td> <td>107.5</td> <td>33,556</td> <td>95.6</td> </tr> <tr> <td>R3年 11月</td> <td>78,525</td> <td>111.3</td> <td>34,153</td> <td>88.6</td> </tr> </table>	輸入量の推移		財務省:通関実績		暦年	輸入数量		チルド数量		ト	前年比	ト	前年比	H29年	932,048	108.2	398,847	112.2	H30年	924,971	99.2	406,752	102.0	R1年	958,963	103.7	407,360	100.1	R2年	891,807	93.0	416,334	102.2	R3年 8月	78,228	114.2	34,063	108.8	R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8	R3年 10月	77,929	107.5	33,556	95.6	R3年 11月	78,525	111.3	34,153	88.6											
輸入量の推移		財務省:通関実績																																																																
暦年	輸入数量		チルド数量																																																															
	ト	前年比	ト	前年比																																																														
H29年	932,048	108.2	398,847	112.2																																																														
H30年	924,971	99.2	406,752	102.0																																																														
R1年	958,963	103.7	407,360	100.1																																																														
R2年	891,807	93.0	416,334	102.2																																																														
R3年 8月	78,228	114.2	34,063	108.8																																																														
R3年 9月	74,295	113.5	35,466	108.8																																																														
R3年 10月	77,929	107.5	33,556	95.6																																																														
R3年 11月	78,525	111.3	34,153	88.6																																																														
需要	1.家計消費	<p>○ 総務省発表の令和3年10月期家計調査報告によると、全国二人以上の1世帯当たり豚肉購入数量は1,955g(前年同月102.1%)、支出金額が2,690円(同97.8%)となり、購入量は前年を上回ったものの、金額は前年を下回った。(※前々年度同月比:購入量108.1%、金額105.3%)</p> <p>○ 日本スーパーマーケット協会など食品関連スーパー3団体の11月の販売統計速報によると畜産部門の売上高は1,131億円(前年同月比98.3%、既存店ベース96.8%)と前年同月を下回った。国産品・輸入品ともに価格の上昇が続く中、牛肉・豚肉は国産・輸入ともに低調な荷動きが報告されている。</p> <p>○ 日本チェーンストア協会が公表した11月販売概況によると、畜産品の売上は879.9億円(店舗調整後で前年同月比98.5%)となり、前年をわずかに下回った。前月に続き鶏卵は好調ながら、牛肉・豚肉・鶏肉・ハム・ソーセージ類は荷動きは総じて鈍かったとの報告内容となっている。</p> <p>○ 12月の荷動きは、年末に向けて気温が低下する中で鍋需要が終始堅調に推移し、バラ・カタロースといったスライス系の部位が牽引役となり、全体的に良好な荷動きとなった。国産物・冷蔵は、終始バラが好調で、続いてカタロースも良好な荷動きとなり、モモ・ロースも荷余り感なく推移した。また、国産物・冷凍品も、前月同様、荷余り感がない締った需給が続く、バラを中心に堅調な荷動となった。一方、輸入品は米国での現地価格の高騰と通関遅れの恒常化に加えて、カナダでの洪水の影響により逼迫した品薄状態のなかで、チルドは量販店等はベリーを中心とした引合が強く、フローズンは、緊急事態宣言の解除により、低迷を続けた外食需要が緩やかに回復に転じるなか、荷動も回復傾向に転じることとなっている。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="5">家計消費量 (ト, 円, %)</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="4">全国1世帯当たり</th> </tr> <tr> <th>数量</th> <th>前年比</th> <th>金額</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>20,785</td> <td>101.7</td> <td>30,025</td> <td>101.8</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>21,514</td> <td>103.5</td> <td>30,591</td> <td>101.9</td> </tr> <tr> <td>H31年</td> <td>21,178</td> <td>98.4</td> <td>29,637</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>22,973</td> <td>108.5</td> <td>32,861</td> <td>110.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>1,896</td> <td>103.8</td> <td>2,705</td> <td>99.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>1,889</td> <td>106.8</td> <td>2,639</td> <td>101.3</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>1,955</td> <td>102.1</td> <td>2,690</td> <td>97.8</td> </tr> </table>	家計消費量 (ト, 円, %)					暦年	全国1世帯当たり				数量	前年比	金額	前年比	H29年	20,785	101.7	30,025	101.8	H30年	21,514	103.5	30,591	101.9	H31年	21,178	98.4	29,637	96.9	R2年	22,973	108.5	32,861	110.9	R3年 8月	1,896	103.8	2,705	99.8	R3年 9月	1,889	106.8	2,639	101.3	R3年 10月	1,955	102.1	2,690	97.8														
	家計消費量 (ト, 円, %)																																																																	
暦年	全国1世帯当たり																																																																	
	数量	前年比	金額	前年比																																																														
H29年	20,785	101.7	30,025	101.8																																																														
H30年	21,514	103.5	30,591	101.9																																																														
H31年	21,178	98.4	29,637	96.9																																																														
R2年	22,973	108.5	32,861	110.9																																																														
R3年 8月	1,896	103.8	2,705	99.8																																																														
R3年 9月	1,889	106.8	2,639	101.3																																																														
R3年 10月	1,955	102.1	2,690	97.8																																																														
2.小売動向	<p>○ 12月の荷動きは、年末に向けて気温が低下する中で鍋需要が終始堅調に推移し、バラ・カタロースといったスライス系の部位が牽引役となり、全体的に良好な荷動きとなった。国産物・冷蔵は、終始バラが好調で、続いてカタロースも良好な荷動きとなり、モモ・ロースも荷余り感なく推移した。また、国産物・冷凍品も、前月同様、荷余り感がない締った需給が続く、バラを中心に堅調な荷動となった。一方、輸入品は米国での現地価格の高騰と通関遅れの恒常化に加えて、カナダでの洪水の影響により逼迫した品薄状態のなかで、チルドは量販店等はベリーを中心とした引合が強く、フローズンは、緊急事態宣言の解除により、低迷を続けた外食需要が緩やかに回復に転じるなか、荷動も回復傾向に転じることとなっている。</p>																																																																	
12月概況	<p>○ 12月の荷動きは、年末に向けて気温が低下する中で鍋需要が終始堅調に推移し、バラ・カタロースといったスライス系の部位が牽引役となり、全体的に良好な荷動きとなった。国産物・冷蔵は、終始バラが好調で、続いてカタロースも良好な荷動きとなり、モモ・ロースも荷余り感なく推移した。また、国産物・冷凍品も、前月同様、荷余り感がない締った需給が続く、バラを中心に堅調な荷動となった。一方、輸入品は米国での現地価格の高騰と通関遅れの恒常化に加えて、カナダでの洪水の影響により逼迫した品薄状態のなかで、チルドは量販店等はベリーを中心とした引合が強く、フローズンは、緊急事態宣言の解除により、低迷を続けた外食需要が緩やかに回復に転じるなか、荷動も回復傾向に転じることとなっている。</p>																																																																	
3.加工肉仕向量	<p>○ 日本ハム・ソーセージ工業協同組合発表の令和3年10月の豚肉加工品仕向量は31.6千ト(前年同月比97.2%)と、前年をわずかに下回った。内訳は、国内物6.3千ト(前年同月比94.7%)・輸入物25.3千ト(同97.9%)で、国内物・輸入物ともに前年を下回った。なお、上記仕向量とは別枠のシーズドポークは、10.9千ト(前年同月比106.5%)と前年をかなりの程度上回ることとなった。</p>																																																																	
在庫	1.在庫	<p>○ (独)農畜産業振興機構が12月23日に公表した豚肉の需給予測によると令和3年11月末の推定期末在庫量は176.4千ト(前年比90.4%、前月比96.5%)となり、前年をかなりの程度下回った。内訳は、輸入品の在庫が154.8千ト(前年比88.1%、前月比95.9%)、国産品が21.6千ト(前年比111.3%、前月比100.9%)となり、輸入品は前年実績を下回り、国産品は前年実績を上回った。同機構によれば、国産品と輸入品を合わせた今後の期末在庫の推移は、12月が169.7千ト(同90.1%)、翌年4年1月については168.2千ト(同92.1%)と、いずれも前年を下回って推移するものと予測している。</p>																																																																
	2.予測																																																																	
枝肉相場	1.R3年12月速報値	<p>○ 令和3年12月の東京食肉市場枝肉相場は速報値(12/28時点)で576円/kg(前年比107.6%)と前年を上回った。12月はカナダでの洪水等の影響で輸入品が品薄となる中、出荷頭数が伸び悩み、強含みな相場推移となった。相場は、上旬には540円中心で推移したが、中旬にかけて続伸し570円台中心まで上昇を続け、下旬は最終週の畜頭数が大きく減少したため、600円台前半の推移となるまで相場は続伸した。この結果、相場は東京「上」月間平均では576円(速報値)となり、前年をかなりの程度上回る(前年比107.6%)とともに、2か月ぶりに500円を超えることとなった。</p>	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th colspan="2">市況の推移(東京市場)※税込み</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">加工品仕向量</th> <th rowspan="2">暦年</th> <th colspan="2">豚枝肉「上物」</th> </tr> <tr> <th>千ト</th> <th>前年比</th> <th>円/kg</th> <th>前年比</th> </tr> <tr> <td>H29年</td> <td>376.6</td> <td>101.6</td> <td>H29年</td> <td>569</td> <td>108.6</td> </tr> <tr> <td>H30年</td> <td>376.6</td> <td>100.0</td> <td>H30年</td> <td>518</td> <td>91.0</td> </tr> <tr> <td>R1年</td> <td>372.1</td> <td>98.8</td> <td>R1年</td> <td>524</td> <td>101.2</td> </tr> <tr> <td>R2年</td> <td>376.7</td> <td>101.2</td> <td>R2年</td> <td>561</td> <td>106.9</td> </tr> <tr> <td>R3年 7月</td> <td>32.7</td> <td>98.0</td> <td>R3年9月</td> <td>600</td> <td>96.5</td> </tr> <tr> <td>R3年 8月</td> <td>30.2</td> <td>99.8</td> <td>R3年10月</td> <td>528</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>R3年 9月</td> <td>34.6</td> <td>114.8</td> <td>R3年11月</td> <td>493</td> <td>92.8</td> </tr> <tr> <td>R3年 10月</td> <td>31.6</td> <td>97.2</td> <td>R3年12月速報値</td> <td>576</td> <td>107.6</td> </tr> </table>	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)※税込み		暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」		千ト	前年比	円/kg	前年比	H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6	H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0	R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2	R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9	R3年 7月	32.7	98.0	R3年9月	600	96.5	R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月	528	98.1	R3年 9月	34.6	114.8	R3年11月	493	92.8	R3年 10月	31.6	97.2	R3年12月速報値	576	107.6	
	加工品仕向量		市況の推移(東京市場)※税込み																																																															
暦年	加工品仕向量		暦年	豚枝肉「上物」																																																														
	千ト	前年比		円/kg	前年比																																																													
H29年	376.6	101.6	H29年	569	108.6																																																													
H30年	376.6	100.0	H30年	518	91.0																																																													
R1年	372.1	98.8	R1年	524	101.2																																																													
R2年	376.7	101.2	R2年	561	106.9																																																													
R3年 7月	32.7	98.0	R3年9月	600	96.5																																																													
R3年 8月	30.2	99.8	R3年10月	528	98.1																																																													
R3年 9月	34.6	114.8	R3年11月	493	92.8																																																													
R3年 10月	31.6	97.2	R3年12月速報値	576	107.6																																																													
2.R4年1月	<p>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年12月23日付肉豚生産出荷予測の令和4年1月出荷予測頭数は1,399千頭(前年同月比99%)と前年をわずかに下回る出荷頭数で、対過去5年平均でも99%と平年を下回る出荷予測となっている。外食需要が回復基調となる中、内食需要も底堅く、12月末からの急激な気温低下による増体不良のため出荷頭数がさらに減少することが懸念され、恒常化している輸入物の不安定な入荷状況もあり、一時的な乱れはあるものの、相場は総じて堅調な展開が予測される。なお、出荷頭数や新型コロナウイルスの影響に伴う行政対応等による相場への影響には引き続き注視が必要である。</p> <p>&lt;相場予想: 東京市場、税込み&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>R3年11月実績</td> <td>R3年12月速報値</td> <td>R4年1月予測</td> <td>R4年2月予測</td> </tr> <tr> <td>493円(92.8%)</td> <td>576円(107.6%)</td> <td>530円(106.6%)</td> <td>510円(102.2%)</td> </tr> </table> <p>【上物】(前年比)</p>	R3年11月実績	R3年12月速報値	R4年1月予測	R4年2月予測	493円(92.8%)	576円(107.6%)	530円(106.6%)	510円(102.2%)																																																									
R3年11月実績	R3年12月速報値	R4年1月予測	R4年2月予測																																																															
493円(92.8%)	576円(107.6%)	530円(106.6%)	510円(102.2%)																																																															